

県内経済の動き

概況

〔2022年10月～2022年12月の動き〕

新型コロナの影響が気になりなるも景気持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（10月）は2カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（11月 細島港）は2カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（11月 全店ベース）は14カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（12月）は4カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（11月）は3カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（12月 保証対象請負総額）は6カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（11月）は前月比▲0.04ポイントの1.44倍で、12月の企業倒産は前月比3件減の2件、負債額は同4億63百万円減の4億54百万円となった。

新型コロナ第8派の影響が懸念される中、3年ぶりに行動制限のない年末を迎えた。今後の人流の活発化がもたらす県内経済への波及効果に期待したい。